



真名子小だより 1月号

えがお



平成26年1月15日

発行者 島田 芳行



【3学期の目標を発表する4年生】

きれいな初日の出が見られた平成26年がいよいよスタートしました。1月1日付けで着任した私も、ちょうど1年になります。お陰様で、去年は、保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、子どもたちと充実した日々を過ごすことができました。その感謝の気持ちを込め、元日、学校で国旗を揚げた後、大宮神社にお参りに行ってきました。凜とした心地よい緊張感の中、静かに手を合わせ、この1年の真名子っ子の健やかな成長をお祈りしました。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も真名子小の子どもたちのため、本校教育に深いご理解とご支援をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

さて、平成25年度の締めくくりとなる3学期の始業式が、1月8日(水)に行われました。3学期の登校日は、6年生が4日、1~5年生が5日です。一番短い学期ですが、「総仕上げ」と「感謝」をキーワードに、1年間の『まとめ』をしっかりと行っていきたいと思ひます。

3学期の始業式で子どもたちに話したこと

“「総仕上げ」と「感謝」をキーワードに充実した3学期を!”



2014年が始まりました。今年の干支は午年です。大草原にいる馬のように、さわやかに伸び伸びと育って欲しいと思ひます。すべてがウマくいく1年になるとよいですね。

さて、今日からいよいよ3学期です。3学期のキーワードは「1年間の総仕上げ」と「感謝」です。まず、「1年間の総仕上げ」についてです。真名子小学校は、今年度3つのことを目指してきました。

- 1 夢や希望に向かって学び続ける学校
- 2 いじめのない日本一の仲良し学校
- 3 日本一美しい学校



「学び」で一番に大切なことは、「聞く」ことです。皆さんは「聞く」時に、どこで聞きますか。耳だけでいいですか。話は、相手を見て、聞こうという心を持ち、集中して聞くことが大切です。話を「聞く」ときは、「目」と「心」と「耳」で聞くようにしましょう。そうすれば学力も伸びます。

次に、皆が「仲良し」になるために、次の3つの言葉が言えるようになって欲しいと思ひます。「おはよう」というあいさつ、「ありがとう」という感謝の言葉、「ごめんなさい」という素直に謝る気持ち、これらの3つの言葉は、人と人が仲良しになるための魔法の言葉です。ぜひ、いつでもだれに対しても言えるようにしましょう。

最後に「日本一の美しい学校」にするために、先生から言われたからではなく、友達から言われたからではなく、「自分から進んでやろう」ということです。この学校は、皆さんの学校です。自分たちの力で美しい学校にしましょう。総仕上げの3学期、以上のことをしっかりとできるようにして、進学・進級をして欲しいと思ひます。

そして、もう一つのキーワード「感謝」についてです。皆さんは、この1年間、先生からいろいろなことを学び、家族や地域の皆さんに支えられて成長してきました。1年間お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えていきましょう。

3学期! 6年生は中学生になるための、1~5年生は次の学年に進級するための準備の期間です。充実した3学期にしましょう。



news!



3学期早々、11人の子どもたちが、終えた自主学習ノートを見せに校長室にやってきました。その中の一人の子のノートには、「わたしは、6年生になるために、自主学習をたくさんがんばりたいです。勉強を復習して、しっかりと覚えて、6年生になりたいからです。」という言葉が書いてありました。新年への意気込みに、元気をもらいました。

“あったか栃木” 子ども生き生きプロジェクトで目指す いじめ・体罰のない学校づくり！（いじめに関する実態調査より）



本市では、互いに支え合い、励まし合うあたたかな人間関係の中で、子どもたちが安心して学び、生きる力を確実にはぐくむことができるように、“あったか栃木”子ども生き生きプロジェクトを推進し、いじめ・体罰のない学校づくりを目指しています。その一つとして、いじめに関するアンケート調査や市教育委員会による巡回相談などが行われています。

このたび、市のアンケート調査結果が出ましたので、後日配布予定の市教育委員会からの通知をよくご覧ください。本校の場合、「いじめられたと感じたことがあった」と回答した子どもの割合は少なく、しかも12月の調査では「解決した」との回答を得ています。しかし、いじめに関しては常に強い危機感をもって指導にあたるのが大切です。そこで、特に次のことに努めます。

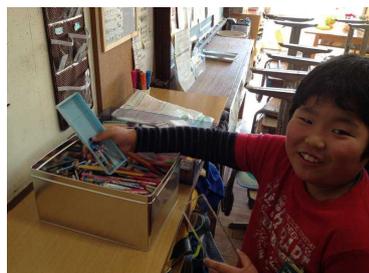
- 早期発見の努力と速やかな解決
- 道徳教育、人権教育、特別活動の充実
- 家庭・地域との連携・協力

※ いじめのことでお悩みのことがありましたら、担任または教頭、さらには市の「栃木市あったか電話」（☎21-2715 ただし庁舎移転に伴い2月3日からは☎21-2478）等にご相談ください。



真名子っ子の優しさが海を越えて… ～フィリピンの子どもたちの笑顔が届きました！～

真名子っ子たちが、台風30号で被災したフィリピンの子どもたちに、クリスマスプレゼントとして集めた鉛筆560本とメモ帳92冊。本校ALTのジェラ先生がボランティア活動をしながら、直接、子どもたちに手渡していただきました。その帰国報告会が1月10日（金）に行われました。



17tの水や食料を運び、約1週間、炊き出しなどのボランティアを終えたジェラ先生が、現地の方々に代わって、子どもたちに「ありがとう」という言葉を伝えてくださいました。大きな災害にあっても頑張っている子どもたちがいます。真名子っ子にとっても、わたしたちにとってもよい経験になりました。

心の扉を開いて皆仲良し ～人権コンサートで心もほっかほか～

1月13日（月）に人権ふれあいコンサートが開かれました。これは、都賀・西方地域で実施している文部科学省指定の人権教育研究推進事業の一環として行われたものです。「佐久間レイさんとゆかいな仲間たち」の心温まるお話と歌に、笑いあり涙あり…。支え合いながら夢をもって強く生きること、命の重さを知ってその命を精一杯生かすこと。保護者・地域の皆様と共有しながら、子どもたちの教育に励みたいと思います。

